

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871000414
法人名	有限会社 土香里
事業所名	グループホーム・土香里
所在地	愛媛県伊予市大平字片山甲2 2 5 - 1
自己評価作成日	平成21年9月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「一人でも多くの利用者を、住み慣れた我家、見慣れた顔ぶれの揃う我家で生活できるようにしたい。」

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

県グループホーム協議会が行う研修へ、多く参加した事業所に贈られる賞状が玄関に飾られていた。事業所の取り組みや活動については、毎月ユニットごとに職員が集まり、話し合っていて決めておられ、代表者は、「やってみる・試してみる」ことを大切にされており、職員の提案を大いに受け入れる姿勢で取り組まれている。 代表者、職員は、「利用者との約束は必ず守る」ようにされており、外出希望等も職員が連携して支援し、利用者個々との信頼関係を作っておられる。 居室には、敬老の日に利用者一人ひとりに事業所職員から贈られた「感謝状」が飾られていた。感謝状には、「やさしさ」とか「笑顔」等、ご本人のよいところを記したあとに「皆に幸せを与えてくれます」と書かれており、利用者は、賞状に感激をされていた。居室で窓から見える景色を眺めたり、テレビを見て過ごす方もいる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム・土香里

(ユニット名) 木の花

記入者(管理者)

氏名 河本 圭仁

評価完了日 21年 9月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 代表者と職員によって作られた理念であり、内部の勉強会などで、振り返るようにしている。	
			(外部評価) 理念に、ご近所付き合いを大切にすることを掲げ、取り組まれている。年の初めに、各ユニット職員で話し合い、支援についての「ユニットの目標」を決めておられ、月の目標とともに居間に掲示されていた。調査訪問時には、今月の目標として「手洗いの励行」を挙げておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 毎月の組内の常会には、代表者が出席しており、地域のお祭り、清掃、運動会などのイベントには、代表者及び職員、ご利用者共に参加している。また、近隣の方とは、日常的に行き来がある。	
			(外部評価) ご近所の方達と事業所は、日頃からお付き合いをされており、事業所の行事時には、お寿司を作ってくださいたり、ご近所の方が入院をされた時にはお見舞いに行かれ、ご自宅に戻られた際、食事を運んだり、事業所に迎えたりされている。地域の女性が集まる会で代表者は「認知症のこと」についてお話しされたり、近所の方から「一人暮らしをしている高齢者がホームに来て食事するような機会はないだろうか」という提案もいただき、事業所は行く行く考えていきたいと話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 組内の集会や、運営推進会議において、認知症に対する理解や支援等を代表者が説明している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議には、必ず意見交換タイムをとり、そ こで出された意見は、リーダー会及び、カンファレンス 時に検討し、サービス向上に繋げるようにしてい るが、そういった意見は実際には少ない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、事業所と別の会場で開催されており、他市 の行政の方や他介護事業所の方も参加をされている。会 場には、お花やすすきのような季節のものを飾り、最 後には皆で唱歌「ふるさと」を歌うような取組みも されている。スライドショーで事業所の行事等の活動 報告をされたり、ご家族が参加される時には、ご家族 の知りたい情報等を踏まえた内容に努めておられる。</p>	<p>事業所では、ご家族の出席を増やしたいと考えておら れる。出席者からさらにご意見をいただけるような会 議のすすめ方の工夫や、ご家族への案内の工夫等につ いて話し合ってみてはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議には、市の担当者の方へ出席していただ いている。また、「認知症になっても安心して暮らせ る伊予市に！」をテーマに、GHとして何か協力でき ないか、市担当者の方へ検討する機会をつくってい る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者の方から事業所の活動報 告を受けて「事業所の雰囲気の良いのが伝わって くる」と感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束廃止委員会を設けるとともに、身体拘束につ いて内部勉強会を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所のリーダーが集まり「身体拘束廃止委員会」を 結成して、退院後等、ミトンを使用している利用者へ も拘束をしなくても済む支援方法について検討されたり、 転倒防止策についてもアイデアを出し合い、話し 合われている。日常的に、職員の言葉で利用者の動き を止めてしまっていないか、ということについても点 検されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待についての内部勉強会を以前行った。また、代表者は職員のストレスが溜まらないように、職員間のコミュニケーションを大切にしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度については、代表者及び一部の職員のみが理解している。今後、内部勉強会等において、職員全員が理解できるよう取り組む必要がある。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、重要事項説明書及び契約書の内容を説明し、疑問点があれば、説明している。また、契約後疑問点が見つかった場合においても、適宜説明している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議において、ご家族の意見を聞かせていただいているが、面会時に気づいたことがあれば、その時に話し合っている。但し、胸中を表に出せない方も多いと思うため、今後職員によって検討していく必要がある。 (外部評価) 電話で連絡をされたり、ご家族の来訪時や写真等も採り入れた事業所便り等で活動報告をされている。運営推進会議時、出席いただけのご家族は、会議の会場作りの準備を手伝ってくださることもある。	事業所では、ご家族との関係をさらに深め、協力し合えるような関係を作っていきたいと考えておられる。さらに事業所のことに興味を持ってもらえるよう、取り組みを工夫されてみてほしい。ご家族に、利用者への支援に工夫していること等の事例をお伝えしたり、意見を聞く機会を設ける等、不安や心配なこと等についても意見交換されてはどうだろうか。評価実施後送付する家族アンケート等もきっかけにして、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者も勤務に入っており、職員からの意見は日常的に聞きその時に話し合っている。即実行できるような意見は、即実行している。	
			(外部評価) 県グループホーム協議会が行う研修へ、多く参加した事業所に贈られる賞状が玄関に飾られていた。事業所の取り組みや活動については、毎月ユニットごとに職員が集まり、話し合っ決めておられ、代表者は、「やってみる・試してみる」ことを大切にされており、職員の提案を大いに受け入れる姿勢で取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 基本的に職員の給与に差をつけていない。職員の休日希望は全て沿えるように取り組んでいる。但し、全ての職員が向上心を持っているかは疑問。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 内部勉強会の年間計画をたて、実行中。また、代表者が勤務に入っていることもあり、代表者が職員に働きかけ、外部研修によく参加している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GHの管理者交流会や、他GHの運営推進会議に出席したりしている。但し、リーダー以上の職員の出席が殆どであるため、他職員に対しての取り組みが必要。	
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前から、出来る範囲でGHへ立ち寄ってもらい、初期の不安な胸中を理解し、とにかく傍に居てあげることを優先している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前から、出来る範囲でGHへ立ち寄りてもらい、職員とのコミュニケーションを図り、言い易い関係作りに勤めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族等からケアに対する希望、要望を聞き取りしているが、他のサービス利用も含めた対応には至っていないと思う。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員が主体になった場面が、時折みられる。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアに対する相談を家族交えて行うこともあり、関係作りに日頃から力を入れている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人が行きたい所に、職員と個別で外出している。また、行き慣れた掛かりつけ医への定期受診を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族からのお手紙にお返事を書かれる方がいる。ご家族の希望でご本人がご自宅で過ごせるようサポートされたり、時に、懐かしい場所に出かけて、思い出しをお聞きすることもある。事業所では、「在宅復帰」を視野に入れて取り組みをすすめておられ、「ご家族が後悔しないような支援」にも努めようとされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係の支援は十分とは言えないが、利用者同士が支えあっている場面はよくみられる。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居後も、イベントの案内を送ったり、電話連絡したり、手紙を送ったりしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) まずは、本人から様々な意向を聞き出すことに力を入れている。本人が希望する所へ、本人主体の個別外出を行っている。 (外部評価) 個別で出かける際等には、利用者の思いやこれまでの生活についてのお話がよく聞けるようであり、職員は利用者のことをよく知っておられる。センター方式の書式をもとにして事業所でオリジナルのアセスメント表を作成されており、お好きなことや嫌いなこと等も記録されている。又、「排せつ」や「入浴」等の支援ごと変化を記録しておられた。食事カードを使って食事について聞き取り、「利用者が作っていた料理」のお話を聞くこともある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時の聞き取りにおいて、これまでの暮らしの把握はできているものの、アセスメントシートを振り返っていないため、十分な把握が出来ていない。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 全体的に観察が足りない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			職員が主体の話し合いが多いため、もっと本人、家族、必要な関係者を含めた話し合いが必要。	
			(外部評価)	
			個別のアセスメントやご家族等の要望を踏まえ、職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個別記録を作成し、情報の共有を行っている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			代表者、職員共に、求められるニーズについて検討し、フレキシブルな事業所になるよう取り組んでいる。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域資源を把握しきれていないため、十分な活用が出来ていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			かかりつけ医は、本人、家族の希望を最優先にしてい る。	
			(外部評価)	
			ご本人ご家族が希望するかかりつけ医を受診でき るよう支援されており、職員が受診に同行されてい る。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			看護職員は常に介護職員と情報交換を行い、連携を 図っている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			代表者によって、日頃より病院の地域連携室等との関 係づくりを行っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人、家族、担当医、代表者、職員、看護師、ケアマ ネージャーにより連携を密にし、チームで取り組んで いる。	
			(外部評価)	
			運営推進会議時に看取りの事例を報告された。ご家族 にはご本人の状態に変化があった時に、今後の支援に ついて話し合うようにされている。ご家族、ご親類の 方に見守られながら亡くなられた方もあった。	事業所では、看取り支援に取り組み、ご家族の協 力の大切さを感じておられた。ご家族とご本人が望ま れている支援や事業所のできることもお話しされたり、 事例を交えて、ご家族の不安や心配なことを聞き 取るような機会作り等も期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			事業所において、救命救急士による救命救急研修を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			定期的に避難訓練、通報訓練を行い、災害時において近隣の方に早急に協力要請できるよう協力依頼している。	
			(外部評価)	
			消防署の協力を得て、不審火や台所からの火災を想定して避難訓練を行われた。近所に消防団の方がおられ、いざという時には頼りにされている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			一部の職員において、不適切な声かけが見られることがある。(準言語の部分)	
			(外部評価)	
			代表者、職員は、「利用者との約束は必ず守る」ようにされており、外出希望等も職員が連携して支援し、利用者個々との信頼関係を作っておられる。職員は、信頼関係のもと、時に優しく、時に闊達な言葉かけをされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			「しっかりと待ってあげること」「選択肢を与えること」などによって、本人の自己決定を促すようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	利用者のペースに合わせるような支援をしているが、どうしても職員の都合優先になってしまう。そうなっていないか、毎月のリーダー会でチェックしている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	本人の希望を聞き、着る服を決めたり、散髪の時も好きな髪形にしている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	無理なく、出来る範囲のことを手伝ってもらっている。食事は、利用者と一緒に食べることを基本にしている。
			(外部評価)	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	専属の栄養士によって、カロリー計算から献立を立てている。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	口腔ケアは毎食後行い、必要があれば、口腔体操も取り入れている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個別の排泄自立支援を行っているが、紙パンツの使用量は減っていない。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	極力、薬を使わぬように、牛乳やヨーグルトによって、便秘対策をしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	時々、どうしても職員の都合に合わせた入浴時間になってしまうが、毎日入浴できるように準備している。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	個別に、休息(ベッドに横になる)出来るよう、時間帯を決めてある。また、意持ちよく眠られている時には無理に起こさないようにしている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋はいつでも見ることが出来るようにしているが、全員は理解していない。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 楽しみごとが、すぐ目の前に絶えずあるよう、職員が盛り上げてくれている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 日常的に、外出は多く取り入れ、一対一の外出も計画している。	
			(外部評価) ご本人がこれまで利用されていた、町の商店街の洋服店に買い物に行かれたり、体調の悪いご家族のために、石手寺にご祈願に行かれることも支援されている。又、受診帰りにふるさとの付近をドライブされることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) まとまったお金は、事業所で管理しているが、自分で管理できる利用者は、自分で買い物をさせていただいている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) いつでも電話かけたり、手紙を書いたり出来るようにしている。そのため、電話番号を大きく書いて渡したり、はがきや手紙の用意をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 職員によって、季節ごとの飾りつけを行ったり、カーテンを替えたりしている。	
			(外部評価) 玄関前には、来訪する人に「ようこそ・・・」とメッセージがあり、玄関を入ると音楽が流れていた。廊下の突き当たりにテーブルとイスを設置して、利用者のおしゃべりする場所になっていた。居間の一角で飼っておられる、うさぎをなでておられる利用者や、椅子に腰かけて洗濯ものをたたんでいる利用者の様子が見られた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合う利用者数名で集うことができるよう、小テーブルを設けている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時、本人の馴染の物や、好みのものを居室に置いていただくようお願いしている。また、居室に棚なども自由に付けていただくよう説明している。	
			(外部評価) 居室には、敬老の日に利用者一人ひとりに事業所職員から贈られた「感謝状」が飾られていた。感謝状には、「やさしさ」とか「笑顔」等、ご本人のよいところを記したあとに「皆に幸せを与えてくれてありがとうございます」と書かれており、利用者は、賞状に感激をされていた。居室で窓から見える景色を眺めたり、テレビを見て過ごす方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者が快適に過ごせるよう、テーブル、イスの配置換えを随時行い、また、目に付きやすく、手の届く安全な位置に、掃除道具、歯磨きセットを置いている。	
			(外部評価)	